



いちかわみさと

第2号

2006年2月1日発行

議会広報



まゆ玉づくり（市川保育所）

第1回
12月定例会

討論で幕が開けた定例会 2～3ページ

私たちの身近な予算 4～5ページ

常任委員会の報告 6ページ

8議員が一般質問 7～10ページ

みんなのページ 12ページ

で幕開け

第1回 12月定例会

市川三郷町議会第1回定例会は、平成17年12月12日から20日までの9日間の会期で開かれました。

提出された議案は、専決処分の承認、条例の改正、平成17年度市川三郷町一般会計、特別会計予算、人事案件など50議案でした。

いずれも原案どおり承認、可決、同意されました。
一般質問は、8人の議員が町政全般について町の考え方をたしました。



総務教育常任委員会



本会議のようす



※ 専決処分

職員給与条例中改正の専決処分は、第2回臨時会で否決されました。

この改正は、人事院勧告の尊重、人件費削減などの理由で再議に付したが、日程的に不可能であるため専決処分されたものです。

この専決処分に異議があり、討論の後、起立採決し賛成多数で原案どおり承認されました。

給与条例改正に異議あり

討論

討論は要旨のみ掲載です。

反対

一瀬 正

本案件は過日の臨時議会で否決された議案を諸般の事情で町長が専決したもの。構造改革の名のもとに小泉内閣が進めている国民に苦難を押しつける同一線上にある。意図的に国民の中に「対立」をつくる国民分断の攻撃だ。公務員と民間労働者を対立させ民間労働者の賃金引下げ競争を加速させる。住民の奉仕者としての町職員の生活を守ることとは町民のくらしを守ることにつながると思え反対する。

賛成

松野清貴

本承認案件は、人事院勧告を尊重し国家公務員の給与改定に準じた町職員の給与改定である。人事院では給与等を公務員と比較し、民間給与等に合わせた勧告を出している。先の臨時会で否決されたが、再度町長の丁寧な説明を受け、理

賛成

深澤 静

解を深めた。手当ての基準日までに臨時会の開催ができなかったため専決処分としたもの。以上のことから賛成する。

合併して町の規模が大きくなり、仕事も複雑、多岐に亘っている。この時期に職員給与を下げることは忍びないものがあるが、行政への厳しい目が向けられていることも事実。

公務員の給与は市場原理が働かず、税金で賄われていることから、民間給与にあわせることが合理的である。問題の重要性かつ緊急を要すると判断したもので、これに賛成する。

税条例改正

税条例改正に異議があり、討論の後、起立採決し賛成多数で原案どおり可決されました。

税条例改正に異議あり

討論

討論は要旨のみ掲載です。

反対

一瀬 正

65歳以上の町民税非課税を課税に改める提案だ。本町の場合所得が28万円から125万円の人は910人いる。この人達も新たに課税される。本町の

個人町民税は5億4255万円、所得125万円以下の高齢者から税改正で徴収される18年度の額は340万円で0.63%に過ぎない。大企業優遇の税制が続けられている中で、弱いものいじめの条例改正に憤りを感じ反対する。

賛成

加藤光明

3町が合併し、住み良い町を目指して町政を推進しているが、財政基盤は脆弱。国や県、地方債に依存している。

税負担は、低いに越したことはないが、国・地方とも財政は危機的状況で、国民全員が痛みを分かち合うべき。本条例改正は65歳以上の一律課税ではなく、所得により応分の負担をお願いするもの。国の地方税法改正を受けての改正である。このことから賛成する。

賛成

深澤 静

本町は財政基盤が弱い状況にあり、平成17年度の本町の歳入中町税は17%と低い。今後、地方自治を確立し住民福祉を達成するためには、行政事務の再配分とこれに基づく財源の再配分、自主財源の充実強化が強く要請される。高齢者に対する課税強化は複雑な心境だが、負担能力のある方には応得的にご負担をお願いしようとするもの。以上のことから賛成する。

※専決処分

町長が議会に代わって意思決定を行うこと。
ただし、次の議会にこれを報告し、承認が必要となります。

審 議 結 果

討 論

議 案	付託委員会	審議結果
専決処分		
・町職員給与条例中一部改正の専決処分	… 本会議 …	承認 (賛成多数)
条例改正		
・町職員給与条例中一部改正	… 総務教育 …	可決 (全会一致)
・町職員の特殊勤務手当に関する条例中一部改正	… 総務教育 …	可決 (全会一致)
・町税条例中一部改正	… 総務教育 …	可決 (賛成多数)
・町立病院諸収入条例中一部改正	… 厚生 …	可決 (全会一致)
予算		
・平成17年度一般会計予算	… 全委員会 …	可決 (全会一致)
・平成17年度国民健康保険特別会計予算	… 厚生 …	可決 (全会一致)
・平成17年度老人保健特別会計予算	… 厚生 …	可決 (全会一致)
・平成17年度介護保険特別会計予算	… 厚生 …	可決 (全会一致)
・平成17年度介護サービス事業特別会計予算	… 厚生 …	可決 (全会一致)
・平成17年度訪問看護ステーション西八代特別会計予算	… 厚生 …	可決 (全会一致)
・平成17年度公共下水道事業特別会計予算	… 厚生 …	可決 (全会一致)
・平成17年度簡易水道事業特別会計予算	… 厚生 …	可決 (全会一致)
・平成17年度農業集落排水事業特別会計予算	… 厚生 …	可決 (全会一致)
・平成17年度戸別浄化槽整備推進事業特別会計予算	… 厚生 …	可決 (全会一致)
・平成17年度温泉事業特別会計予算	… 土木産業 …	可決 (全会一致)
・平成17年度恩賜県有財産保護管理事業特別会計予算	… 土木産業 …	可決 (全会一致)
・平成17年度市川財産区特別会計予算	… 土木産業 …	可決 (全会一致)
・平成17年度高田財産区特別会計予算	… 土木産業 …	可決 (全会一致)
・平成17年度大同財産区特別会計予算	… 土木産業 …	可決 (全会一致)
・平成17年度歌舞伎文化公園管理事業特別会計予算	… 土木産業 …	可決 (全会一致)
・平成17年度土地開発管理事業特別会計予算	… 土木産業 …	可決 (全会一致)
・平成17年度西八代地区心身障害児適性就学指導協議会特別会計予算	… 総務教育 …	可決 (全会一致)
・平成17年度市川三郷町外1ヶ村指導主事共同設置に伴う特別会計予算	… 総務教育 …	可決 (全会一致)
・平成17年度上水道事業会計予算	… 厚生 …	可決 (全会一致)
・平成17年度病院事業会計予算	… 厚生 …	可決 (全会一致)
規約の変更		
・中央市の設置並びに中道町及び上九一色村の区域の一部を甲府市に編入すること並びに上九一色村の区域の一部を富士河口湖町に編入することに伴う山梨県市町村協議会議員公務災害補償等組合規約の変更	… 総務教育 …	可決 (全会一致)
・小淵沢町を北杜市に編入することに伴う山梨県市町村協議会議員公務災害補償等組合規約の変更	… 総務教育 …	可決 (全会一致)
・中央市の設置並びに中道町及び上九一色村の区域の一部を甲府市に編入すること並びに上九一色村の区域の一部を富士河口湖町に編入することに伴う山梨県市町村総合事務組合規約の変更	… 総務教育 …	可決 (全会一致)
・甲府市、中道町及び上九一色村の区域の一部の合併に伴う山梨県市町村総合事務組合の財産処分	… 総務教育 …	可決 (全会一致)
・小淵沢町を北杜市に編入することに伴う山梨県市町村総合事務組合規約の変更	… 総務教育 …	可決 (全会一致)
・三郡衛生組合を組織する地方公共団体の数の増減及び同組合規約の変更	… 厚生 …	可決 (全会一致)
・中巨摩地区広域事務組合を組織する地方公共団体の数の増減及び同組合規約の変更	… 厚生 …	可決 (全会一致)
・峡南衛生組合規約の変更	… 厚生 …	可決 (全会一致)
・大島山外七字恩賜県有財産保護組合を組織する地方公共団体の数の増減及び同組合規約の変更	… 土木産業 …	可決 (全会一致)
・日向山恩賜県有財産保護組合を組織する地方公共団体の数の増減及び同組合規約の変更	… 土木産業 …	可決 (全会一致)
・西日向山外三山恩賜県有財産保護組合を組織する地方公共団体の数の増減及び同組合規約の変更	… 土木産業 …	可決 (全会一致)
・峡南地区ことばの教室共同設置協議会を構成する地方公共団体の数の減少	… 総務教育 …	可決 (全会一致)
・日向山恩賜県有財産保護組合を組織する地方公共団体の数の増減及び同組合規約の変更	… 本会議 …	可決 (全会一致)
まちづくり		
・市川三郷町過疎地域自立促進計画の策定	… 総務教育 …	可決 (全会一致)
・市川三郷町道路線の認定	… 土木産業 …	可決 (全会一致)
・市川三郷町道路線の廃止	… 土木産業 …	可決 (全会一致)
人事		
・市川三郷町公平委員会委員の選任につき同意3件	… 本会議 …	同意 (全会一致)
・市川三郷町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意3件	… 本会議 …	同意 (全会一致)
・人権擁護委員候補者の推薦につき意見2件	… 本会議 …	同意 (全会一致)



委員会審議のようす

条例の改正

市川三郷町職員給与条例
および
市川三郷町職員の特殊勤務手当に関する条例
町立病院に勤務する医師の給与制度を見直し、類似病院との均衡を図るための改正です。

市川三郷町税条例
地方税法の改正に伴い、町民税の非課税措置を一部段階的に廃止するなど
の改正です。

市川三郷町立病院諸収入条例
介護保険法の改正に伴い、市川三郷町介護老人保健施設の個室料を半額に見直し、個人負担の軽減を図るための改正です。

私達の身近な予算

平成17年度 市川三郷町予算

(万円未満は四捨五入)

おもな特別会計予算

国民健康保険特別会計予算 (事業勘定)	9億9,804万円
(直営診療施設勘定)	5,679万円
老人保健特別会計予算	11億2,521万円
介護保険特別会計予算	10億5,036万円
簡易水道事業特別会計予算	3億2,360万円
公共下水道事業特別会計予算	14億 633万円
温泉事業特別会計予算	5,006万円
歌舞伎文化公園管理事業特別会計予算	3,576万円

企業会計

上水道事業会計予算	
事業収入	7,144万円
事業支出	8,883万円
病院事業会計予算(病院分)	
事業収入	8億8,433万円
事業支出	10億3,532万円
(介護老人保健施設分)	
事業収入	1億7,372万円
事業支出	1億8,623万円

一般会計予算

●歳入歳出の総額は

62億 315万円です。

■おもな歳入	
町税	6億4,010万円
地方交付税	17億9,609万円
分担金・負担金	1億6,177万円
国・県支出金	12億6,630万円
町債	17億8,840万円

■おもな歳出(目的別)	
議会費	8,234万円
総務費	11億1,116万円
民生費	9億6,385万円
衛生費	3億2,475万円
農林水産費	2億7,474万円
土木費	17億9,925万円
消防費	1億3,005万円
教育費	5億6,804万円
公債費	4億9,350万円

審議結果

- ・町議会議員の報酬、費用弁償等に関する条例中一部改正 … 原案否決 … (反対多数)
- ・町長等の給与及び旅費条例中一部改正 … 原案否決 … (反対多数)
- ・教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例中一部改正 … 原案否決 … (反対多数)
- ・町職員給与条例中一部改正 … 原案否決 … (反対多数)
- ・町長職務執行者の給与及び旅費条例の廃止 … 可 決 … (全会一致)
- ・教育委員会委員の任命について同意5件 … 同 意 … (全会一致)
- ・監査委員の選任について同意2件 … 同 意 … (全会一致)

第2回臨時会は、平成17年11月29日開会されました。提出された議案は、人事院勧告に伴う議員、特別職の報酬条例改正など12議案でした。議員、町長および教育長に関する条例の改正は、厳しい財政事情を考慮すべきとの反対討論があり、起立採決を行い反対多数で否決されました。また、職員の給与と条例改正については、職員の意欲低下につながるなどの反対討論があり、反対多数で否決されました。教育委員、監査委員の人事案件は、すべて原案どおり同意されました。



◆産業・まちおこしに関する予算

農業土木費	1億7,485万円
大門碑林公園管理費	1,027万円
商工振興費	571万円

◆土木・建設に関する予算

住宅建設費	6億9,985万円
道路新設改良費	4億5,299万円
道路橋梁維持管理費	8,493万円
都市計画街路事業	4,795万円
狭あい道路整備事業	990万円

◆消防・防災に関する予算

非常備消防費	6,847万円
消防施設費	6,099万円

◆学校教育に関する予算

小学校（6校）管理費、振興費	9,032万円
中学校（4校）管理費、振興費	1億8,146万円
給食センター費	1億447万円

◆社会教育に関する予算

公民館費	1,158万円
中央公民館管理費	1,458万円
図書館費	1,297万円

◆お年寄りに関する予算

老人福祉費	1億1,149万円
老人医療費	1,542万円
在宅介護支援センター費	1,038万円
介護サービス費諸費	9億1,320万円
居宅支援サービス諸費	992万円

◆子育てに関する予算

児童手当費補助費	4,567万円
子育て支援センター費	403万円
放課後児童健全育成事業費	1,308万円
乳幼児医療費補助費	797万円
保育所費	2億4,165万円

◆福祉に関する予算

身体障害者福祉法関係扶助費	1億4,824万円
介護予防・生活支援事業費	1億7,599万円
六郷の里管理費	6,303万円
社会福祉施設費	201万円

◆衛生に関する予算

し尿処理・塵芥処理費	1億3,128万円
予防費	6,420万円
環境衛生費	2,744万円
水道費（簡易水道）	3,564万円

人事案件

（敬称略）

教育委員

有泉 大
塩島増穂
塩澤雄市
村松久恵
河西五十鈴

市川三郷町中山930番地
市川三郷町大塚4385番地
市川三郷町高田2394番地
市川三郷町市川大門2729番地
市川三郷町岩間697番地

監査委員

中澤 尚 識見
依田洋澄 識選

市川三郷町印沢181番地2
市川三郷町楠甫395番地

公平委員会委員

八木佳之
高野宣三
宮澤廣志

市川三郷町上野2854番地
市川三郷町高田95番地7
市川三郷町鴨狩津向346番地

固定資産評価審査委員会委員

諏訪一彌
渡邊正弘
遅澤康雄

市川三郷町上野2818番地内1
市川三郷町市川大門186番地
市川三郷町落居6220番地2

人権擁護委員候補者

小川益美
上田勝也

市川三郷町上野2833番地
市川三郷町落居6770番地1

選挙管理委員会委員

小林和宏
土橋正博
原 正義
遠藤幸男

市川三郷町上野768番地
市川三郷町市川大門116番地
市川三郷町下大鳥居217番地
市川三郷町落居6769番地

選挙管理委員会委員補充員

土橋正徒
樋川良水
土橋三夫
岸本國雄

市川三郷町大塚4669番地
市川三郷町落居6028番地1
市川三郷町市川大門582番地1
市川三郷町高田2914番地1

常任委員会報告



厚生常任委員会

総務教育常任委員会

総務教育常任委員会は、14日に開会され、付託案件の詳細説明を受け、質議がおこなわれました。

問 医師給与改定は医師確保につながるのか。
病院事務長 類似病院並に改正するもので、若手医師の確保につながるものと考えます。
問 副院長の特別勤務手

厚生常任委員会

厚生常任委員会は、15日に開会され、付託案件の詳細説明を受け、質議がおこなわれました。

問 ケアセンターいちかわの入所料改正が、事業収益に与える影響は。
老健事務長 個室料の値下げにより稼動率を上げ、収益を確保したい。

当て創設の理由は。

病院事務長 以前より副院長のポストはあったが、条例中欠落していたため今回設けた。

問 町税の滞納繰越分の徴収に努力不足はないか。
税務課長 体制強化により滞納整理に努力する。

問 ニードスポーツセンターの使用料は、収入過大では。
いきいき健康課長 PRをしコミュニケーションバス

問 M M Cと共に活動する老人クラブの状況は。
福祉支援課長 社会福祉協議会や地域とタイアップし、進めていく。

問 簡易水道繰入金増額の理由は。
生活環境課長 葛籠沢地区への配水管布設工事に伴うものが主である。

問 水道使用料の収入増は起債減にならないか。
（報告 石原）

の運用など施策を講じ、利用者の拡大に努める。

問 スクールガードリーダー制度の状況は。
教育総務課長 学校の安心安全確保のため、危機管理に精通した方に巡回してもらっている。

問 町営バス運行路線の延長計画はないか。
企画課長 コミュニティバス、福祉バスの運行を検討する。

（報告 有泉（嗣））

生活環境課長 使用料だけでは賄えない。起債は工事費に充当する。

問 病院事業予算で、患者の減少を見込んでいるのに、事業費は減額しないのか。
病院事務長 治療などに使う薬材料が不確定。医師確保が実現した場合も考慮し、見込んでいます。

（報告 石原）

土木産業常任委員会

土木産業常任委員会は、16日に開会され、付託案件の詳細説明を受け、質議がおこなわれました。

問 落居の特産品加工施設は、地域の活性化につながる施策だが、利用について問題点もある。改善策は。
産業振興課長 利用形態も含め今後の方向性を検討する。

問 碑林公園の集客増のため、石碑を増やしたらどうか。
町長 石碑を増やしていくことも考えていきたい。

問 町道路認定の基準は。
建設課長 10月1日より市川三郷町道認定基準の定めるところによる。

（報告 志村）

問 富士見団地建設に伴う補償金交渉の進捗は。
建設課長 当初金額の60%位で契約に至った。

問 温泉事業特別会計の積立金の実績と内容は。
産業振興課長 施設の補修や改装などのため年次的に積立てる。

問 旧上水道事務所周辺の市川財産区所有地の活用策は。
町長 当面は現状のままと考えている。

問 岩間駅東側の土地購入の目的は。
町長 長期計画の中で開発を検討したい。

問 町道路認定の基準は。
建設課長 10月1日より市川三郷町道認定基準の定めるところによる。



土木産業常任委員会

※M M Cマザーズ・ムーブメント・カンパニーの略
子どもの安全のため活動をしている団体

ここが聞きたい

一般質問

8人の議員が質問

・掲載は要旨のみとします。
・顔写真は年1回初回のみとします。

通学路の安全対策が急務

有泉みさを



問 通学路の危険個所の調査は。

教育委員長 学校、PTA、地域の方々の一体的な取り組みで毎年実施している。

問 警察、教育委員会、総務課防災防犯係との連携は。

町長 行政、学校、警察と取り組むよう指示をしている。

問 防犯灯の設置基準に満たなくても、安全確保のために設置すべきだ。

町長 必要がある個所については、随時設置をおこなっている。



子どもの安全のため活動をしているMMCのメンバー

問 登下校の安全対策は。

町長 学校をあげて今調査中。老人クラブ、MMCなどのボランティアや

地域ぐるみのパトロールの取り組み、警察の協力を得ながら町民の防犯意識啓蒙を行う事を検討中。

問 平塩、夢想国師の母の墓前通りの道路改修計画は。

町長 現地を確認し、5カ年計画の中に入れる事を検討する。

防火対策をどう考える

一瀬 正



問 市川大門中心街の火災は、風が吹かなかつた事が幸いしたが、防火対策はどう考えているか。

町長 範囲内に消火栓は消防庁の基準を上回る5カ所あった。防火水槽の整備が必要で、設置には用地の提供を伴うため町

問 町おこしのために、目黒区との交流をどのように進めるのか。

町長 相互理解を深め、商工会、農協、各種団体と連携しながら、官民一体となつて交流が図れるよう努めたい。目黒区民祭りの出展も調整がつけば参加したい。

民の理解と協力をお願いしたい。また、毎年防災訓練を実施する中、災害に強い町づくりを推進する。

問 市川本町駅舎改築に伴い、JRへどう要求するか。

町長 トイレ建設用地、送迎者駐車スペース、駐輪場用地、東側通路用地などの計画のためJRに用地払い下げを要請した

問 人口増加対策の一環として、役場内に住宅あつせん相談室を設置すべきと考えるが、町長の方針は。

町長 金融機関、町内不動産業者、建設関係者、職員OBの協力を得、開設日を決めて実施したい。

問 居宅介護を支える行政と住民による支援体制づくりはどのように考えているか。

町長 地域包括ケアシステムを確立したい。一人暮らしでも安心して住める町にしたい。

問 国保税、介護保険の不均一課税を延長すべきと考えるがいかがか。

町長 保険料の不均一賦課の延長はせず、来年から統一した保険料を賦課することを考えている。



消防出初式

建て替え困難解消対策は

遠藤 浩



問 ※連坦建築物設計制度を導入し、建て替え困難地の解消に取り組むべき。
町長 本制度の適用を受けるには、関係権利者の同意と県の認可が必要。県への協力要請と本制度の適用を希望する地域に支援していく。

問 富士見団地建て替えに伴う、通学路の整備と家賃制度について。
町長 町営住宅建て替え基本計画、都市再生整備計画などで児童の安全確保の諸対策が計画されている。地域、PTAと連携し進めていく。若者への家賃優遇は法的に困難かと思うが、子育て支援の観点から検討する。

問 町民平均所得の全国平均不足分を間接支援する地域の実状に合った教育が必要。

教育委員長 本年から3年計画で、市川小、市川中が確かな学力育成のための実践研究推進校に指定を受け、具体的内容を立案し1年目の研究をおこなっている。事業成果は平成19年以降になる。

問 第一次産業従事者10%を目指し、積極的な農業振興施策が必要。

町長 本町の農業の現状は多くの課題を抱えている。平成12年度策定した農業経営の基本構想を見直している。農業の進展を図る計画を樹立する。

問 本町の行財政改革のため、行政のスリム化、事務事業の見直しなど、重要な課題。

町長 職員の資質向上および業務の大幅改善に基づく定員管理計画を策定し適正化を図る。



建設中の富士見団地



「もったいない本」

※連坦建築物設計制度、複数敷地を、敷地とみなし、接道義務などを緩和した制度

「もったいない」本の活用

今村ます江



問 ノーベル平和賞受賞者のマータイさんが日本で見つけた言葉「もったいない」は、子ども達の心にどうしても育てたい日本の言葉として、小学生の環境副読本に活用すべき。

教育委員長 世界中で環境問題が叫ばれている中で、子ども達が資源を大切に利用していく事を学ぶには最適な本であると考え、教材の選定にあたっては、その内容、保護者負担の軽減などを考慮し必要最小限に絞る努力をしている。この本を学校で使用するかは今後の問題としても、町立図書館、学校図書館、児童館に備えてもよいと考え

問 少子化対策の一つとして乳幼児医療費700円の負担金を廃止すべき。あわせて、窓口無料化も各市町村が連携を取り早期実現が大切であり、今後の見通しは。

町長 一部負担金は平成12年県の要綱改正により一カ月700円負担して頂いている。この負担金制度を導入しない市町村には補助金の一部が減額されている。市町村の不公平さが出る事と医療費が伸びてしまう。

窓口無料化については 県町村会、医療機関などで十分な検討が必要。一歩前に進める様取組む。

問 可燃ゴミの袋は、一人暮らしや高齢者も多く、大小2種類が必要。

町長 材料費の高騰、受益者負担金の導入を理由として、ゴミ袋の価格改定を検討している。この中で大小2種類の袋の導入を実施する方向で進めている。

一般質問

重点施策その具体策は 三神貞雄



問 町長の重点施策の中に7点ほどの公約があるが、具体的な対策は。

町長 社会的弱者が希望や安心を感じずるような、誰もが安心して暮らせる町づくりを目指す。お母さんが安心して子どもを産み、育てる事ができ、地域社会の中で安心して暮らせる町づくりをしていく。

問 一般会計と特別会計の関係では、特別会計の補助金も国や政府は削減の方向で推移しているとき、指定管理者制度の導入、または民間委託する考えは。

町長 町では現在各施設の指定管理、一部民間委託を検討中。民間でできる事は民間でという考えの元を実施する。



みたまの湯

問 希望をもつて明るい職場をつくるため、職員組合を尊重し、交渉などを重点的におこない明るい職場づくりに心がけて頂きたい。また、職員の退職勧告など、いわゆる肩たたきは考えているか。

町長 行政としては住民それぞれのニーズに対応できるような行政サービスが基本であり直接住民と対応する姿勢が大事。

問 そのため、職員研修と共

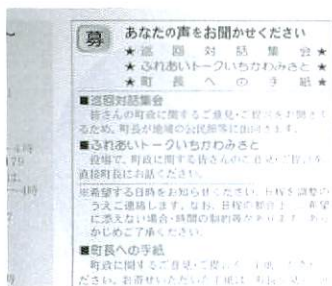
に職員が前向きに仕事に取り組める環境づくりが必要。職員の数が多いということも事実。財政面においても大きな支出となっている。職員の年齢構成が団塊の世代層が多くなっており、この世代が定年を迎える時期に併せて職員の適正化に努めていく。

地域の要望どう把握する 依田洋澄



問 市川三郷町発足と共に新町建設計画の実現に向け、長期に亘って各種の事業の展開を図るのに、合併で広域になったことで、全町的な町民の声の把握が困難になると思われる。広く住民の意見や要望を把握するには、どのような方法を考えているのか。

要望の把握に努める広報



町長 住民の皆様の声をお聞きする方法として巡回対話集会や、町政に関するご意見、ご提言をお聞きするのに、地区の皆様の要望があれば日程調整をし、地域の公民館などに出席してお聞きするようにしている。

また、グループで役場において町政に関するご意見、ご提言を直接お聞きする「ふれあいトークいちかわみさと」や、町長への手紙などで頂いた貴重なご意見を検討し、協議を重ね、行政に反映していく。

今後の課題としては、住民活動や、地域自主組織設立、活動を共に支える自治体制として、区長、組長制度の確立を急ぐ。それまでの間は、各地域の代表者の方々に地域の要望を伺い対応する。今後、合併後も行政サービスの低下を招かないように努めていく。

地方債の返済計画を示せ
塩島英機



問 本町の起債残高は232億2000万円。一人当たり約130万円になるが、その返済計画は、町長 本年度の償還金額は17億9358万円余りの見込み。償還の内訳は、特定財源、地方交付税、一般財源で一般財源の割合が48.6%。

今後、事業実施についての起債借入は、交付税措置のある有利な起債を借り入れ、返済計画にあたる。

問 特例債80億円の使い方として町長の基本的な考えは。

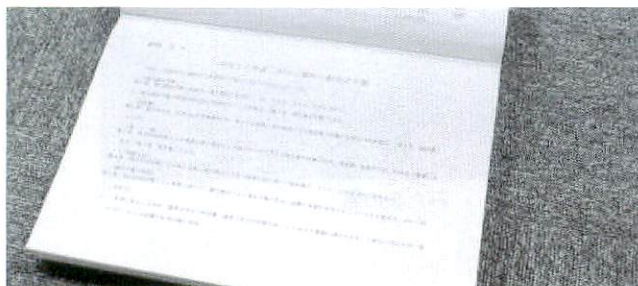
町長 起債対象事業は、新町建設計画に基く公共的施設の整備事業など。借り入れ可能額約98億円、16億円の基金積み立てを予定している。平成18年度から3カ年度で全体の50%ほどの借り入れを見込んでいる。

問 公共工事の入札を指名競争入札から、一般競争、公募型指名競争入札導入の考えは。

町長 市川三郷町一般競争入札事務処理要綱を定めた。対象工事規模1億円以上の工事はこの規定に沿って実施する。

問 小学生から英語教育を取り入れ英語特区として導入の計画は。

教育委員長 学ぶ町の施策の中に、国際化、情報化社会に対応できる個性豊かな人材と、国際的視野にたつて物事を考える人材の育成。行政主導のみではなく学校側の自主的な動きも必要。



わかりやすい説明が求められる予算書



英会話教室

バランスシートの作成を
内藤 優



問 合併後の財政状況を分かりやすく説明し、透明度を一段と高めて新町建設計画の推進に当たることが町民は期待している。町の行政サービスの実態や、借金の返済能力などを、総合的に見ることでできる「バランスシート」を作成する自治体が増えている。合併により予算規模も113億3000万円余りにふくらんでいる。町民参加型の久保町政は「バランスシート」を作成する考えはあるか。

町長 企業会計手法の導入は、企業経営感覚で町の実態をつかむことができるなどの利点があり、長いスパンの町運営の一点を意識でき、行政改革の手法となると思う。また、町の施策の効果や行政サービスの効率性を判断する材料となり、職員がコスト意識をもち改革にもつながる。町財政状況の透明性の一層の向上、住民への説明責任の適切な履行を図る。

総務省が新たに全国都道府県と政令指定都市に連結バランスシートで試行モデルの作成、公表を要請した。市町村にも作成、公表の要請があると思うので、新町としてのバランスシートの作成に取り組んでいきたい。

議会のおもな動き

- 10月
- 1日 市川三郷町開庁式
 - 2日 富士見・市川南保育所運動会
 - 9日 高田、大同地区運動会
- 12～14日
- 市川三郷町第1回臨時会
- 20日 山梨県町村議会議長会
- 26日 峡南衛生組合議会
- 28日 町村議会議員研修会
- 11月
- 14日 地方分権改革総決起大会
 - 15日 文科省指定「公開研究発表会」
 - 17日 群馬県邑楽町が視察のため来庁
 - 18日 群馬県千代田町が視察のため来庁
鯉沢町50周年記念式典
山梨県市町村自治講演会
 - 19日 増穂商業高校50周年記念式典
 - 20日 市川三郷町三珠地区駅伝大会
 - 24日 町村議会議長会全国大会
峡南衛生組合臨時会
 - 29日 市川三郷町第2回臨時会
- 12月
- 1日 三郡衛生組合議会
全員協議会
 - 4日 無火災祈願祭
 - 5日 町村議会広報編集委員長会議
 - 7日 山梨県町村議長会議
 - 9日 商工会合併調印式
- 12月～20日
- 市川三郷町第1回定例会

一部事務組合

峡南衛生組合議会

第2回定例会は10月26日に開会され、市川三郷町誕生に伴う関係条例中改正、平成16年度一般会計決算認定などを原案のとおり承認・認定・可決・同意しました。

また、第2回臨時会は11月24日に開催され、正副議長選挙などが行なわれました。提出された議案は、組合職員給与条例の改正など原案のとおり可決・同意されました。

(報告 有野)

平成16年度一般会計決算	
歳入	5億1,006万円
歳出	4億9,912万円
差引残額	1,814万円

平成17年度一般会計補正予算	
歳入歳出追加額	1,590万円
歳入歳出総額	5億3,560万円

峡南広域行政組合議会

第2回定例会は12月2日に開会され、人事院勧告並びに国家公務員の給与改定に伴う組合職員給与条例の改正、条例廃止では、峡南環境美化保全推進委員会のボランティアへの移行に伴うものでした。平成17年度一般会計補正予算、平成16年度一般会計決算認定などが原案のとおり可決・認定・同意されました。

(報告 斉藤(溢))

平成17年度一般会計補正予算	
歳入歳出追加額	16万円
歳入歳出総額	18億5,460万円
介護保険特別会計	
歳入歳出追加額	△511万円
歳入歳出総額	2億832万円
峡南ふるさと市町村圏特別会計	
歳入歳出追加額	25万円
歳入歳出総額	1,221万円

平成16年度一般会計決算	
歳入	15億5,476万円
歳出	15億3,626万円
差引残額	1,850万円
介護保険特別会計	
歳入	2億1,778万円
歳出	2億1,562万円
差引残額	216万円
峡南ふるさと市町村圏特別会計	
歳入	1,196万円
歳出	1,092万円
差引残額	104万円

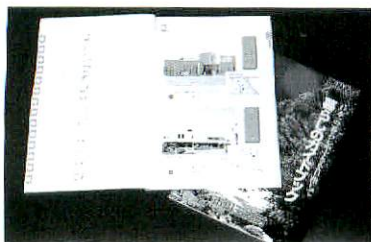
三郡衛生組合議会

12月定例会は12月1日に開会され、市町村合併により、組織する地方公共団体の数の増減、組合規約の変更などを各市町議会に上程しているとの説明がありました。

し尿処理業務は、広域下水道普及に伴い減少し、火葬業務は、心のこもった対応に努めています。また、組合職員給与条例改正などの議案は、原案のとおり可決しました。

(報告 加賀美)

業務の実績 (4月～9月)	
し尿処理業務	
処理数量	8,510 kℓ
処理料	1,277万円
増減	△3.1%
火葬業務	573件



暮らしのガイドブック



町立病院



大塚地区



村上有紀さん(市川大門)

小学校低学年の息子が
平日の夕方に突然、熱を
出しました。
最近では病気をしたこと
が無かったので、昨年骨
折をした際に通院した小
児科に電話をしました。
「急患以外はかかりつけ
医に行ってください」

子育ての感謝と不安

結婚を機に生まれ育つた旧市川大門町から旧三珠町に籍を移して20余年、大塚地区で素晴らしい眺めと肥沃な土地の恩恵を受けながらの農業は充実した日々を私に与えてくれている。
住めば都と言われるとおり、どちらも自分にとって掛け替えのない故郷である。子どもの頃、

新しい故郷



長田 明さん(大塚)

旧三珠町は近くて遠い存在であり、対抗心と縄張り意識とで芦川を挟んで石の投げ合いをしたり、なぜか仲良く一緒に遊んだ記憶がない。今、振り返れば一笑に付する行動であったが、現在でも地域の持つ独特な意識なるものは存在する。
地元を愛する思いはもちろん尊いものであつて然るべき事だが、これらの広域化された町のあり方を考えると町民意識の同化が必要で垣根を越えてのまちづくりが大切だと思ふ。市川三郷町が人々の共通した新しい故郷として心に宿る日が遠い先の話でないことを期待したい。



新町誕生に思う

石原直之さん(楠甫)

「やすらぎづくり」日本一の暮らしやすさを目指して、誕生した市川三郷町も、早や3カ月になりました。町政に関心をもつものの一人として、時間の許す限り、議会傍聴をさせて頂いています。
暮らしのガイドブック等で日常生活に欠かせない行政情報は、目にしてその折にふれて対応しております。すべて馴れるまでは多少の不便、不満

乳児の頃から喘息で苦しんだ息子が通院していたのは、今は無くなつてしまった町立病院小児科。あらためて子育てに不安を感じました。
本来この町は、子どもが育つのにとても良い環境だと思ひます。町を通る身延線の各駅から免許を持たない子どもでも

は有ると思います。
地域の皆様の声を聞く中で、早急に町へお願いしたいことは、町内への放送について、旧町単位で対応して貰えないでしょうか。午前10時、午後3時のチャイムが廃止になった不便さ。火災発生時の放送は、速やかに、分かり易くお願いします。
また、住民に対してのサービス面。例えば、役場からの通知も遅れがちで、宅急便や郵送されていますが経費面ででしょうか。新町の発展を信じています。

様々な場所に行けます。近所のお店なら安心して子どもにおつかいを頼めます。買物の仕方も覚え、地域の方々と交流にもなります。実際息子は近所の方々に見守られながら育ってきました。ほんとうに感謝の毎日です。
感謝の気持ちと不安とが同居する日々です。

(記 加藤)

編集後記

暖冬の予想が転じて、10年ぶりの寒さがやって来ました。日本上空に、マイナス30度・40度の冬將軍が居座り、日本海側や西日本には記録的な雪が降りました。

そんな中、合併後初の市川三郷町議会定例会が開かれました。旧3町の予算の集約に、膨大な量と多岐にわたる項目のため職員の苦勞が伺われた予算でした。多くの質問も出ました、今後の正要望もありました。

厳しい予算の状況ではありますが、町民のための行政が行なわれるよう、議会も見守り、協力していきたいと思ひます。

新年が明るい希望の素晴らしい年となることと、町民の皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。